

鹿妻にコミュニティーカフェ

NPO法人JENと化粧品会社ロレアル

建設へ向け現地で地鎮祭

復興に向け地域のつながりが重要視される中、石巻市鹿妻地区に住民が集えるコミュニティーカフェが建てられることになり、9日に現地で地鎮祭が行われた。カフェはプレハブ平屋建てで、世界最大の化粧品会社ロレアルグループ（本社・パリ）が建設し、10月中旬に開所する予定。市内で被災地支援を行っているNPO法人JEN（ジェン）と共に、地域主体の管理運営をサポートする。

鹿妻市管住宅近くの私有地330平方メートルを借りて建設。建物は約80平方メートルの広さとなり、和室とフロアリングの部屋に間仕切りして使用する。「皆で話せよう」「花を咲かせよう」との意味を込め、「HANA荘（はなそう）」と名付ける。地鎮祭には日本ロレアル㈱のクラウス・フアスベンター社長やシエンのスタッフ、亀山絃市長、地域住民らが出席。神事後、近くの団地や渡波保育所の子どもらが、マリゴールド、ガーベラの花苗をプランターに植えた。



子どもらが完成後の施設を彩る花を植えた

フアスベンター社長は通訳を介して「長期にわたって東北を支援していきたい」と石巻を選んだ。復興のモデルシティになることを祈念したいとあいさつ。国際的に人道・災害復興支援を展開するジェンの木山啓子理事事務局長は「世界を見ても力強くまとまった地域ほど復興が早い。住民が元気に暮らせるようにサポートする」と述べた。

HANA荘では軽食も出し、子どもも遊べる地域住民の交流・情報発信拠点として運営。ロレアルはヘアサロニスやマツサージなども提供することになっている。シエンは門脇中屋敷、黄金浜でコミュニティーカフェを立ち上げており、被災者を雇用しながら常時開設を目指し、地域へ管理運営のノウハウを伝えていく。



「集会所が使えない状況なので、ありがたい」と話していた両者とも譲らない試合展開をみせた

石巻工が準決勝進出

ラグビー県予選 終了間際に同点トライ

第91回全国高校ラグビーフットボール大会宮城県予選の準々決勝は10日、県サッカール場で行われ、石巻工業が仙台一（第4シード）に抽選で勝利し、準決勝進出を決めた。石巻工は終了間際に20-20の同点に追いつき、幸運を呼び込んだ。前半は、終始石巻工が敵陣でプレーする展開。3分に敵陣ゴール前のラックから、バックスがつないで先制すると、6分にも敵の守りを切り崩し2本目のトライを奪った。11分に失点を許すものの、その6分後に追加点を挙げ、前半を15-5で折り返した。後半は、仙台一がシード校の意地を見せ2分、11分、16分と3連続トライを決めて逆転。その後も石巻工は自陣でのプレーを強いられしたが、最後まで粘りをみせた23分、敵陣ゴール前のラックから10番佐々木航平（3年）が抜け出し同点トライ

林家たい 10
グラントホテル
おなじみの
さんの独演
午後4時か
ンドホテル
る。無料。

